

K12ホールディングス 事業シナジーと成長戦略

株式会社K12ホールディングス

代表取締役社長 / 安永 成志

会社概要

K12 Holdings

「K12（ケートゥエルブ）」とは“未就学児（幼稚園：Kindergartenの年長）から高校卒業までの教育期間”を指す。

当社は株式会社レアジョブが100%保有する中間持株会社であり、K12領域での事業拡大を目指して設立。

会社名 株式会社K12ホールディングス

所在地 東京都渋谷区神宮前六丁目27番8号 京セラ原宿ビル2階

設立日 2022年12月13日

資本金 1,000万円

取締役	代表取締役社長	安永 成志（株式会社レアジョブ 代表取締役副社長）
	取締役会長	山本 直美（株式会社アイ・エス・シー 代表取締役社長）
	取締役副会長	下又 健（Ripple Kids Educational Services, Inc. Board director）
	取締役CFO	井上 裕二（株式会社レアジョブ 執行役員CFO）
	取締役CSO	坂江 裕美（Ripple Kids Educational Services, Inc. Board director）
	取締役	安井 康真（株式会社ボーダーリンク 代表取締役社長）
	取締役	杉山 朋也（株式会社エンビジョン 代表取締役社長）
	取締役	酒向 俊彰（株式会社アイ・エス・シー 専務取締役）
	取締役	吉村 洋祐（株式会社ブリティッシュカルチャーアカデミー 代表取締役社長）
	監査役	御園 裕太（株式会社レアジョブ 経営管理本部長）
	監査役	稲垣 司（株式会社レアジョブ グループ法務部長）

K12ホールディングスが 目指すこと

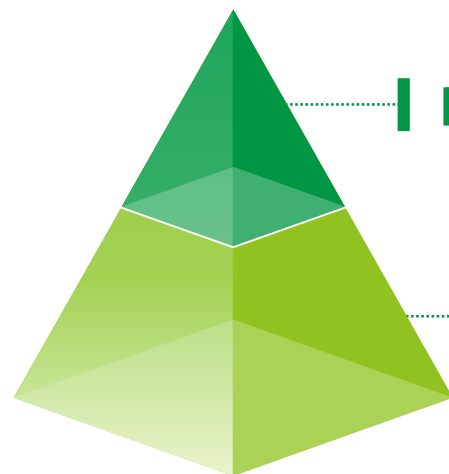
レアジョブグループのVisionを
実現するべく、K12ホールディン
グスとしてのPurposeとMissionを
制定。

レアジョブグループ

Vision

“ Chances for everyone, everywhere. ”

K12ホールディングス



Purpose 子どもたちの可能性が
世界中に広がる社会を創造する

Mission 子どもたちのウェルビーイング※
を向上させる

※ウェルビーイング：肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、全てが満たされた状態にあること

K12ホールディングスを 構成する企業集団

当社では、子ども子育て支援事業
を展開する4社の事業会社を有する。



株式会社エンビジョン ※1

2019年2月～レアジョブ子会社として創業

リップルキッズパーク事業

子ども向け（個人）オンライ
ン英会話

エデュル事業

学校の教科書に準拠した子
ども向け（学校／個人）オ
ンライン英会話

株式会社アイ・エス・シー

2023年1月～参画

保育事業

認可・認可外・発達支援の
保育施設37園の運営

その他事業

教育プログラム販売・コン
サルティング・企業向け子
育て支援プログラムの提供

株式会社ボーダーリンク

2023年4月～参画

ALT ※2 派遣事業

2,000箇所以上の学校等へ
ALTを派遣

グローバルフィールド事業

子ども向け店舗型英語教室

株式会社ブリティッシュカルチャーアカデミー

2023年1月～参画

保育／英語教室事業

同一施設にて認可外保育園
・英語教室の運営

英語講師派遣事業

保育園や幼稚園にネイティ
ブ英語講師の派遣・園児へ
のレッスン提供

※1 2023年6月～(株)ボーダーリンクと合併 ※2 Assistant Language Teacher（外国語指導助手）の略称。英語を母語とする指導助手

K12ホールディングスの事業対象構成

幼児から高校生まで幅広い年代の子どもを対象とする事業を展開する。

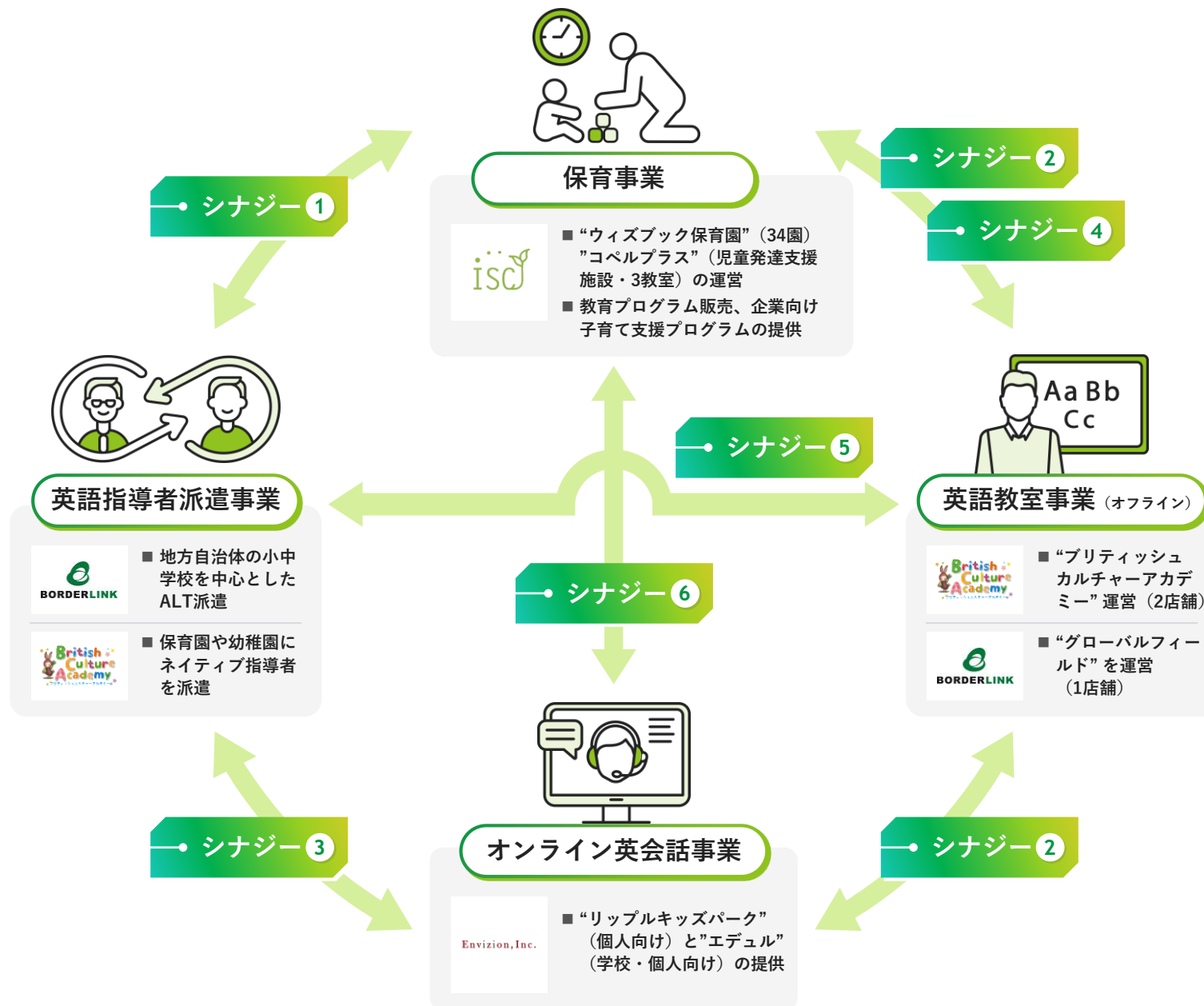
	正課※		課外			
	オフライン	オンライン	オフライン	オンライン		
幼児	保育施設運営  	保育施設への講師派遣  	プログラム開発中  Envizion, Inc.	保育施設への講師派遣 	英語教室運営  	個人向けオンライン英会話サービス Envizion, Inc.
小学生	学校向けALT派遣 	学校向けオンライン英会話サービス Envizion, Inc.	学童向けALT派遣 	個人・学習塾向けオンライン英会話サービス Envizion, Inc.		
中学生						
高校生						

※ 正課：保育施設の保育時間内で行う活動、学校の授業科目など。課外活動の対義語

K12ホールディングスの 4つの事業と6つのシナジー

01

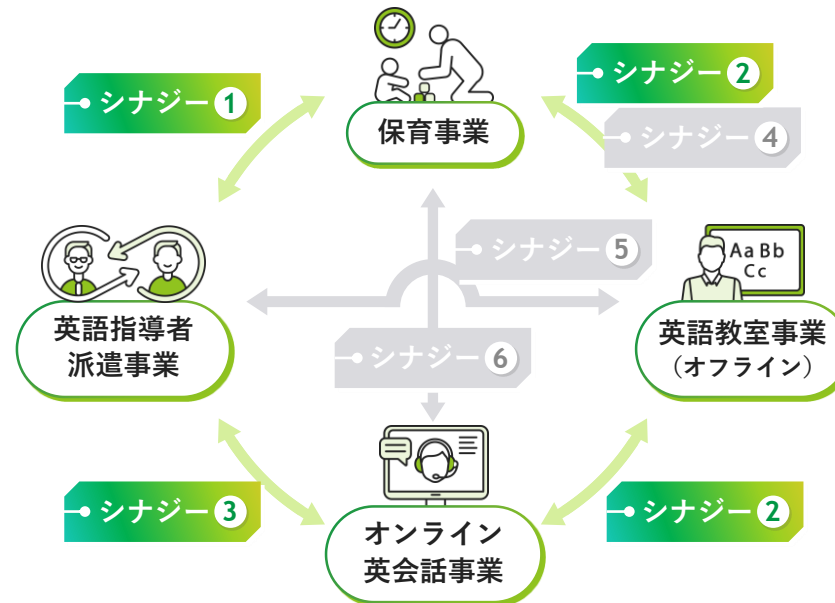
4つの事業領域において、事業会社各社がそれぞれの特性や強みを活かし、6つのシナジーを創出する。



K12ホールディングスの 4つの事業と6つのシナジー

02

各事業会社が連携し、保育施設や教育機関などに対してオンライン・オフライン両方の英会話サービスの提供を加速させる。



シナジー ①

英語指導者を保育園に派遣 オフラインレッスンを提供

英語によるコミュニケーションを《正課で体験できる》保育施設という特色を打ち出し、入園希望者の増加につなげる。

シナジー ②

正課で英会話レッスンできる 幼児向けサービスの共同開発

正課カリキュラムにオンライン・オフラインの英会話レッスンを組む。子どもたちの英語学習成果を実証とすることで他社運営の保育施設でのサービス導入も目指す。

シナジー ③

ALT派遣先自治体に“エデュル”を展開

自治体に対し学校の教科書に準拠したオンライン英会話“エデュル”のレッスンチケットを無償ないし有償で配布。受講者の希望に応じた個人利用の増加も見込む。

オンライン英会話講師をALTとして派遣

当社グループのオンライン英会話講師をALTとして活用し、人材の恒常的な充足を図る。就業キャリアパスによって講師獲得の競争力や指導力も向上させる。

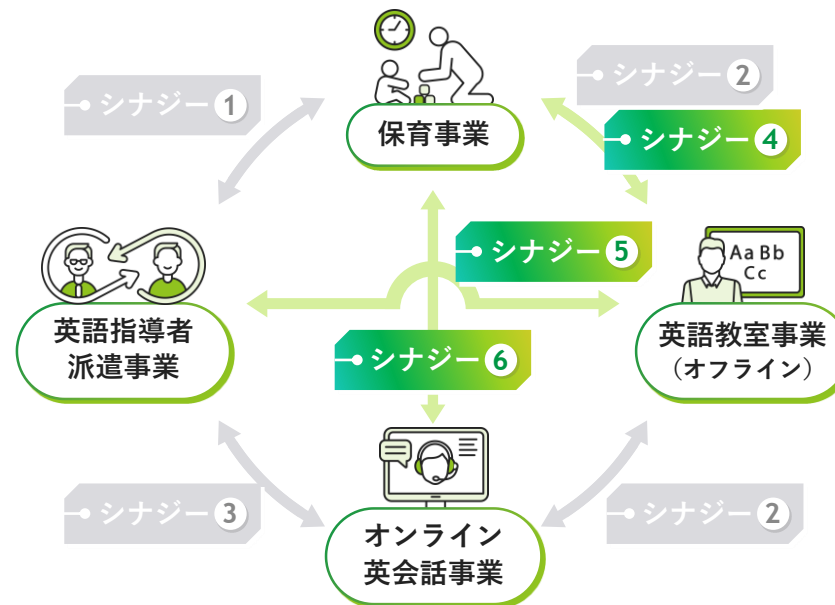
長期休校時のALTによるレッスン提供

長期休校の際はALTが期間限定でオンライン英会話レッスンを提供し、人材の生産性向上を図る。

K12ホールディングスの 4つの事業と6つのシナジー

03

自社の事業提供範囲だけにとどまらず、多様なステークホルダーと連携しながら事業成長と社会課題の解決の両方を推進する。



シナジー 4

バイリンガル教育を展開する 保育事業の開発

英語に軸を置いた付加価値の高い経験や、英語スキル習得を実現する保育事業を新たに開発する。確立したモデルは国内外問わずフランチャイズ展開も目指す。

シナジー 5

オフライン英語教室へ 英語指導者の派遣

英語指導者人材を共用化し、人材確保と安定雇用、活性化を図る。多様な指導経験により指導力の高い人材を輩出し、他事業者との差別化につなげる。

シナジー 6

保育施設向けオンライン英会話 サービスの提供

幼児期から英語コミュニケーションの機会を毎日提供できる環境を構築し、日本の保育施設全体の1割に相当する4,000施設での導入を目指す。

課外活動としてオンライン英会話 サービスへ送客

保育施設から各家庭への利用提案を行い、当社サービスの利用増加を図る。保育施設にはインセンティブを支払い、職員の待遇や保育環境の改善などにつなげる。

K12ホールディングスの 事業成長イメージ

英語指導者派遣事業と保育事業の
事業シナジーを活かし、**保育施設
や教育機関への英会話サービス普
及を加速**させる。

英会話事業を当社の事業全体の成
長をけん引するアクセルとして、
高い成長率を実現する。

5か年事業成長イメージ（売上高・構成比率）

